

あま市本庁舎基本設計
第2回基本設計委員会



平成29年2月10日

1. 第1回基本設計委員会のおさらい

①基本設計委員会の進め方(平成28年度)

第1回 基本設計委員会 (平成28年12月28日(水))

- 1 庁舎整備に関する検討経過
- 2 基本設計委員会と市民ミーティングの役割
- 3 全体スケジュール
- 4 関連計画における庁舎の位置付け
- 5 設計主旨・コンセプト(素案)
- 6 設計条件の検討・整理すべき事項
- 7 建物耐震性計画及び敷地造成の考え方(素案)及び検討ポイント

第2回 基本設計委員会 (平成29年2月10日(金))

- 1 第1回基本設計委員会のおさらい
- 2 設計主旨・コンセプト(案)
- 3 設計条件の検討・整理すべき事項
- 4 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告
- 5 中間取りまとめ(案)

※第2回基本設計委員会までの内容をもとに、
中間取りまとめを作成し、パブリックコメントを実施

中間取りまとめの概要

- ・設計コンセプト
- ・庁舎機能
- ・配置検討案
- ・事業スケジュール

第3回 基本設計委員会 (平成29年3月30日(木)) 予定

- 1 中間パブリックコメント結果の報告
- 2 中間取りまとめ案の検討
- 3 次回(平成29年度)以降のスケジュール

※平成29年12月(予定)の最終パブリックコメントにて、完成イメージや配置・平面イメージを含む基本設計の成果をお示しします。

1. 第1回基本設計委員会のおさらい

②検討事項に対する第1回基本設計委員会での意見のまとめ

設計条件・課題	検討・整理予定事項	第1回基本設計委員会でいただいたご意見
1. 中核防災拠点としての必要機能の整備		
<ul style="list-style-type: none"> ・平常時と非常時の両面において機能や配置の検討が必要 ・広域支援部隊の参集活動空間 	①備えるべき防災機能の検討 (ハリポート、災害対応車両参集対応、ライフライン) ②市地域防災関連との連携検討	①災害対策本部としての機能整備と役割を明確にするとともに、他自治体との連携を踏まえた計画を目指すこと。 ①平時の市民への防災啓発が重要(庁舎ロビーや市民活動スペース)。 ②災害時における市民の安全を守る庁舎機能について検討すること。 ◎庁舎統合後、各避難拠点への災害支援物資の集配方法を検討すること。
2. 想定される災害等リスクに対応できる構造等の確保		
<ul style="list-style-type: none"> ・中核防災拠点としての機能維持 ・建設地は軟弱で盛土沈下や液状化が想定される 	③浸水リスクの把握・整理 ④想定地震被害(断層、液状化) ⑤敷地造成計画の検討 (盛土造成上の耐震工事計画を含む) ⑥建物耐震構造の検討	◎盛土に対して軟弱地盤(地盤沈下)を考慮した杭の強度検討を行うこと。 ◎自家発電設備や、上下水設備の容量や浸水対応を十分検討すること。
3. 円滑な来庁アクセス環境の確保		
<ul style="list-style-type: none"> ・東側道路は交通量が多い ・北側、西側、南側道路は、幅員が狭く歩道が未整備 	⑦県道及び外周道路の整備検討 ⑧来庁者アクセス道路の検討 (徒歩、自転車、自家用車、市巡回バス等) ⑨外周道路等の拡幅による面積不足に対応する敷地内レイアウトの検討 ⑩立体駐車場の検討	◎盛土により発生する敷地高低差に対して、誰もがアクセスしやすい敷地内バリアフリー計画の策定に留意すること。
4. 経済性、維持管理性の高い基本設計の実現、環境と共生する人にも自然にもやさしい庁舎の実現		
<ul style="list-style-type: none"> ・建設コストの縮減 ・維持管理コストの縮減 ・メンテナンスのしやすさ ・周辺環境との調和 ・環境負荷の低減 	⑪シンプルで無駄がなく、安全性・機能性・効率性を重視した計画の検討 ⑫建設コスト・維持管理費までのライフサイクルコストに優れた庁舎の検討 ⑬周辺環境の保全検討 ⑭省エネ・自然エネルギー利用の検討	◎物価高騰による建設コスト増大を抑制する発注手法の検討が必要である。 ※部課間の連携のしやすさや行政の効率化を図ることが必要である。
5. 土地利用計画との調整・整合		
<ul style="list-style-type: none"> ・「居住環境維持・向上地」としての土地利用との整合性 ・「防災・活力連携拠点」としての活用機能 	⑮交流促進のための庁舎計画の検討 ⑯地区計画内開発として東側集落のまちづくりとの調和	◎将来における駅、道路網、既存施設を活用した基盤整備について考えていく必要がある。
6. 市民目線の庁舎機能整備		
<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎の機能 ・駐車場の機能 ・にぎわいの創出と利便性 	⑰使いやすさ等を考慮した敷地内レイアウトの検討 ⑱市民活動スペースの機能集約 ⑲保健センター機能等の重複機能集約	◎三町が一体となった市民活動が行いやすいようにすること。 ◎会議室等を市民が利用できる貸し館機能や休日の市民開放が可能となる機能について検討すること。 ※ワンストップによるスムーズな手続きができる計画を検討する必要がある。 ※市民活動スペースは、市民が利用しやすい仕組みづくりを検討すること。

◎は、庁舎設計以外の関連項目、※は、新規項目

2. あま市本庁舎設計主旨・コンセプト（案）

(1) 中枢防災拠点として 市民の安全安心を守る庁舎

- 耐震性能が高く浸水への備えも万全な、あらゆる災害に強い庁舎とします。
- 災害時に電気や水などのインフラが寸断されても機能する自立型の庁舎とします。

(2) 行政機能の拠点として 市民が利用しやすい庁舎

- 多様な交通アクセスへの対応やバリアフリー化など、すべての人が利用しやすい計画とします。
- 統合庁舎としてあらゆる手続きがワンストップでスムーズにできる計画とします。
- 歩車分離や、使いやすい広場など安全に十分な配慮が行き届いた施設計画とします。

(3) 市民の交流拠点として すべての人に親しみやすい庁舎

- 市民活動が日常的にできる場を設け、活力やにぎわいが創出される拠点にふさわしい計画とします。
- 市民の憩いの場として親しまれるよう、あま市らしさを感じられる計画とします。
- 情報発信が行いやすく、市民と行政の対話型の運営ができる計画とします。

(4) 環境と共生する、人にも 自然にもやさしい庁舎

- 豊かな自然の恵みを大切に、敷地周辺の環境と調和のとれた計画とします。
- 省エネ性能に優れ、自然エネルギーを上手に生かした環境負荷を最小とする計画とします。

(5) ライフサイクルコストに優れた 経済的かつ長寿命の庁舎

- シンプルで無駄がなく、安全性や機能性を重視した計画とします。
- 多様化する業務や市民ニーズに迅速かつ適切に対応できる柔軟で機能的な執務スペースを整備します。
- 建設コストから維持管理費の縮減までトータルなライフサイクルコストに優れた庁舎とします。

3. 基本設計における設計条件の検討・整理すべき事項

※第1回基本設計委員会で提示しました検討・整理事項を「設計主旨・コンセプト（案）」に対応するよう構成を見直すとともに、各委員から頂いたご意見を加えて下表のとおり再整理します。そして、これら課題及び検討・整理事項に対して、市民ミーティングによる検討や設計検討を進め、順次、本委員会において取りまとめまいります。

(1) 中枢防災拠点として市民の安全安心を守る庁舎

項目	設計条件・課題	検討・整理事項
<ul style="list-style-type: none"> ○耐震性能が高く浸水への備えも万全な、あらゆる災害に強い庁舎 ○災害時に電気や水などのインフラが寸断されても機能する自立型の庁舎 	<ul style="list-style-type: none"> ○中枢防災拠点としての必要機能 ○平常時と非常時の両面において機能や配置の検討が必要 ○広域支援部隊の参集活動空間・中枢防災拠点としての機能維持 ○想定される災害等リスクに対応できる構造等の確保 ○建設地は軟弱で盛土沈下や液状化が想定される ○「防災・活力連携拠点」としての活用機能 ○平時から市民の防災意識を高めるための意識啓発や情報発信が重要 	<ul style="list-style-type: none"> ①備えるべき防災機能の検討 (ヘリポート、災害対応車両参集対応、ライフライン) ②市地域防災計画の検討 ③浸水リスクの把握・整理 ④想定地震被害(断層、液状化) ⑤敷地造成計画の検討 (盛土造成上の耐震工事計画を含む) ⑥建物耐震構造の検討

(2) 行政機能の拠点として市民が利用しやすい庁舎

<ul style="list-style-type: none"> ○多様な交通アクセスへの対応やバリアフリー化など、すべての人が利用しやすい計画 ○統合庁舎としてあらゆる手続きがワンストップでスムーズにできる計画 ○歩車分離や、使いやすい広場など安全に十分な配慮が行き届いた施設計画 	<ul style="list-style-type: none"> ○円滑な来庁アクセス環境の確保 ○東側道路は交通量が多い ○北側、西側、南側道路は、幅員が狭く歩道が未整備 ○駐車場の機能 ○誰にでも利用しやすい庁舎の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦県道及び外周道路の整備検討 ⑧来庁者アクセス道路の検討 (徒歩、自転車、自家用車、市巡回バス等) ⑨外周道路等の拡幅による面積不足への対応検討 ⑩立体駐車場の検討 ⑪保健センター機能等の重複機能集約 ⑫ワンストップサービスの実現【追加】
--	--	--

3. 基本設計における設計条件の検討・整理すべき事項

(3) 市民の交流拠点として、すべての人に親しみやすい庁舎

項目	設計条件・課題	検討・整理事項
<ul style="list-style-type: none"> ○市民活動が日常的にできる場を設け、活力やにぎわいが創出される拠点にふさわしい計画 ○市民の憩いの場として親しまれるよう、あま市らしさを感じられる計画 ○情報発信が行いやすく、市民と行政の対話型の運営ができる計画 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民目線からの庁舎機能整備 ○にぎわいの創出と利便性 ○「居住環境維持・向上地」としての土地利用との整合性 	<ul style="list-style-type: none"> ⑬交流促進のための庁舎計画の検討 ⑭地区計画内開発として東側集落のまちづくりとの調和 ⑮市民の使いやすさ等を考慮した敷地内レイアウトの検討 ⑯市民活動スペースの設置 ⑰市民目線からの新庁舎に期待する機能・備えるべき機能【追加】

(4) 環境と共生する人にも自然にもやさしい庁舎

<ul style="list-style-type: none"> ○豊かな自然の恵みを大切に、敷地周辺の環境と調和のとれた計画 ○省エネ性能に優れ、自然エネルギーを上手に生かした環境負荷を最小とする計画 	<ul style="list-style-type: none"> ○周辺環境との調和 ○環境負荷の低減 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩周辺環境の保全検討 ⑲省エネ・自然エネルギー利用の検討
---	---	---

(5) ライフサイクルコストに優れた経済的かつ長寿命の庁舎

<ul style="list-style-type: none"> ○シンプルで無駄がなく、安全性や機能性を重視した計画 ○多様化する業務や市民ニーズに迅速かつ適切に対応できる柔軟で機能的な執務スペースの整備 ○建設コストから維持管理費の縮減までトータルなライフサイクルコストに優れた庁舎 	<ul style="list-style-type: none"> ○行政の効率化・部課間の連携のしやすさのための事務機能の集約 ○建設コストの縮減 ○維持管理コストの縮減 ○メンテナンスのしやすさ 	<ul style="list-style-type: none"> ⑳シンプルで無駄がなく、安全性・機能性・効率性を重視した計画の検討 ㉑多様化する業務や市民ニーズに迅速かつ適切に対応できる柔軟で機能的な執務スペースの整備【追加】 ㉒建設コスト・維持管理費までのライフサイクルコストに優れた庁舎の検討
--	--	--

4. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(1) 想定すべき災害リスク及び造成計画の検討

- ③ 浸水リスクの把握・整理
- ④ 想定地震被害(断層、液状化)
- ⑤ 敷地造成計画の検討
(盛土造成上の耐震工事計画を含む)

(2) 耐震計画の検討

- ⑥ 建物耐震構造の検討

(3) 周辺道路計画の検討

- ⑦ 県道及び外周道路の整備検討
- ⑧ 来庁者アクセス道路の検討
(徒歩、自転車、自家用車、市巡回バス等)

(4) 市民ミーティングの報告 (配置計画の検討)

- ⑨ 外周道路等の拡幅による面積不足への対応検討
- ⑩ 立体駐車場の検討
- ⑬ 交流促進のための庁舎計画の検討
- ⑮ 市民の使いやすさを考慮した敷地内レイアウトの検討
- ⑯ 市民活動スペースの設置
- ⑰ 市民目線から新庁舎に期待する機能、備えるべき機能
- ⑱ 周囲環境の保全検討

4. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(1) 想定すべき災害リスク及び造成計画の検討

※TP: 海拔高さ

前面道路の現況高さTP+0.0m

③ 浸水リスクの把握・整理

河川名(確率降雨)	大雨により氾濫した場合の最大浸水位 (各河川の計画降雨によるシミュレーション) あま市洪水ハザードマップで公表中	地元沖之島地区にお住まいの方への 聞き取り調査結果
木曾川(1/100)	—	伊勢湾台風や東海豪雨を振り返って みても、沖之島地区では、特に甚大な 被害は発生しておらず、道路冠水が 起こった程度である。
庄内川(1/200)	T.P.+1.035m	
日光川(1/100)	T.P.+0.340m	
蟹江川(1/30)	—	
福田川(1/30)	T.P.+0.140m	
五条川(1/100)	—	
新 川(1/100)	—	

※1 確率降雨とは、30～200年間に1回程度発生すると想定される大雨の量のことで、一般的に〇〇年確率(計画)降雨といいます。

※2 平成27年に水防法の改正に基づき、浸水想定的前提となる降雨を、想定し得る最大規模の降雨によって示すこととなり、平成28年12月に実施された木曾川のシミュレーションにおいて、計画地でT.P.+2.17mの浸水の可能性や水が引くまでに約7日間を要することなどが示されました。

《参考》木曾川による比較

○従来の計画降雨
295mm/48時間

○水防法改正に基づく最大規模降雨
527mm/48時間

庁舎計画地においては、庄内川の最大浸水位T.P.+1.035mに余裕高(約1m)を考慮したうえで、地盤の嵩上げ(T.P.+2.2m)を計画し、浸水リスクに対して、十分な備えを講じてまいります。

〔この計画高は、平成28年12月に公表された木曾川の想定し得る最大規模の降雨による浸水深にも対応できています。〕



あま市洪水ハザードマップ
(平成24年3月作成)

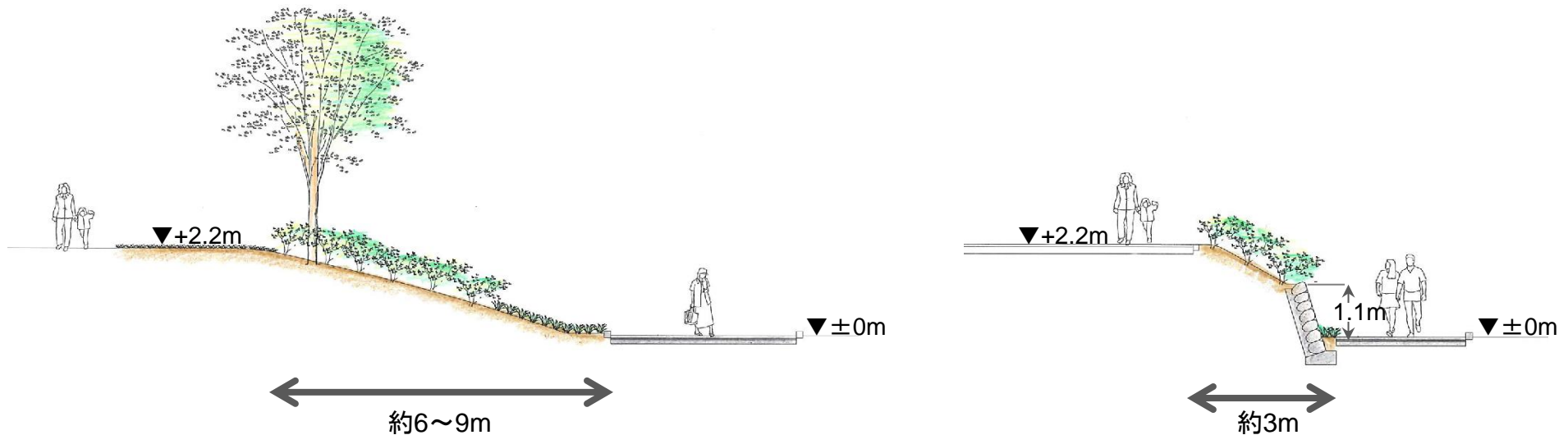
想定し得る最大規模の降雨による
浸水深予測《木曾川》
(平成28年12月公表)

4. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(1) 想定すべき災害リスク及び 造成計画の検討

③ 浸水リスクの把握・整理

T. P. + 2. 2 mの嵩上げの構造処理イメージ (断面図)



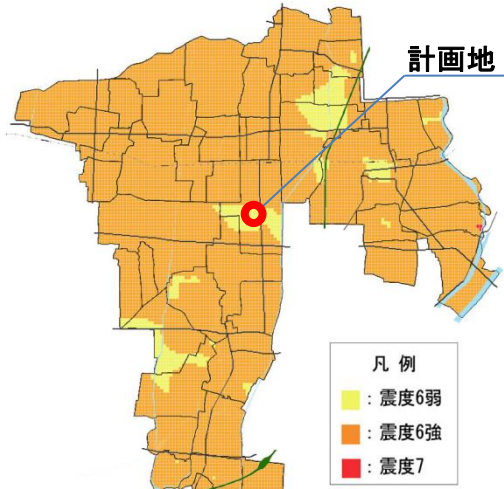
○地盤の嵩上げ(T.P.+ 2.2m)については、周囲に及ぼす圧迫感を軽減するために、直壁構造ではなく、敷地外周に法面を設けるとともに、法面部分に植生による緑化を施し、法面の風化や浸食を防止します。

○法面の構造については、腰止擁壁からの法面や緩やかな勾配による法面処理など、場所によって構造処理を変えるなどの工夫を引き続き検討し、盛土造成計画と一体的に取りまとめてまいります。

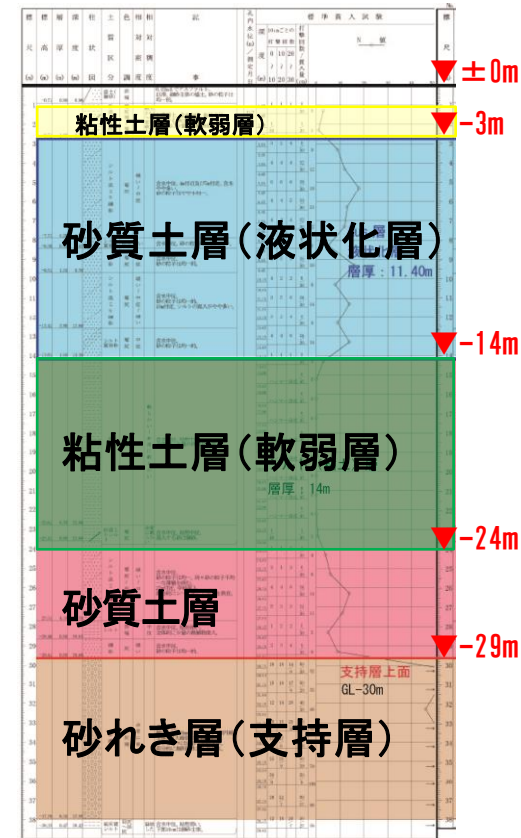
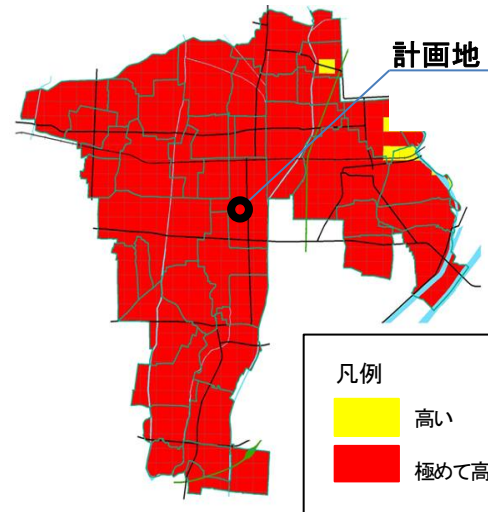
4. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(1) 想定すべき災害リスク及び造成計画の検討

④ 想定地震被害（断層、液状化）



あま市地震ハザードマップ
(震度分布マップ)



地質調査結果
(平成28年11月実施)

あま市地震ハザードマップ
(液状化の危険度)

- 庁舎計画地における想定震度は「震度6弱」
- 過去の愛知県の調査等から、本市において「活断層」はありません。
- 平成28年11月に実施した地質調査の結果からは、過去に市内で把握された地質結果等とほぼ同様のものであり、大きな差異は見当たりません。
- 液状化が発生しやすい地層が-3mから-14mに存在しています。
- 非常に軟弱な地層が-14mから-24mに存在しています。



- 庁舎を支える杭や庁舎の耐震構造の決定、盛土造成の検討に当たっては、この液状化対策や軟弱地盤対策について、引き続き詳細な検討を進めてまいります。

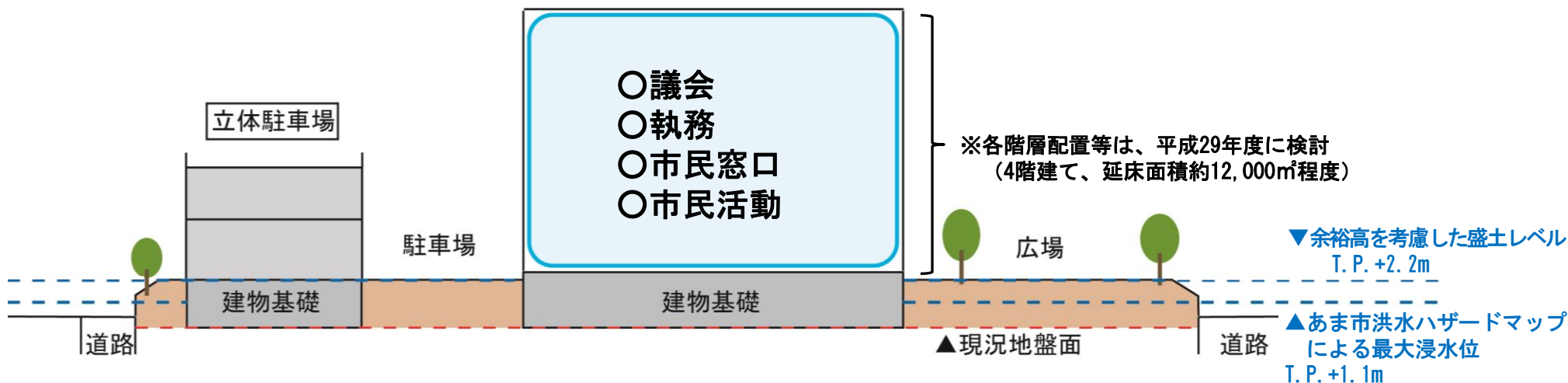
4. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(1) 想定すべき災害リスク及び造成計画の検討

⑤ 敷地造成計画の検討(盛土造成上の耐震工事計画を含む)

庁舎

庁舎及び造成計画(イメージ)



- 庁舎周辺敷地は、市防災対策本部のみならず、広域的な支援部隊等の参集活動を想定し、盛土による嵩上げ造成 (T.P.+2.2m) を行います。
- 庁舎の耐震構造と盛土造成計画の一体的な検討を引き続き進め、最適な構造計画とするとともに、適切な工事計画についても取りまとめてまいります。

4. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(2) 耐震計画の検討

⑥ 建物耐震構造の検討

	耐震構造	制震構造	免震構造
概念図	<p>上部になるにつれて変位・加速度も大きくなる。 建物の変形が大きい。 建物が直接地盤に支持されている。 柱の補強 梁の補強 壁の増設 鉄骨ブレースの新設 地震時の振動</p>	<p>制御装置でエネルギーを吸収する。 建物の変形が比較的小さい。 建物が直接地盤に支持されている。 制震ブレース 制震間柱 制震間仕切り壁 地震時の振動</p>	<p>各階ともほとんど同じ変位・加速度となる。 建物の変形が小さい。 建物が免震装置で支持されている。 基礎免震 中間階免震 杭頭免震 地震時の振動</p>
① 中枢防災拠点としての耐震安全性	△	△	◎
② 地震直後の事業継続性	△	△	◎
③ 敷地地盤への適合性	○	○	○
経済性(参考)	○	○	○

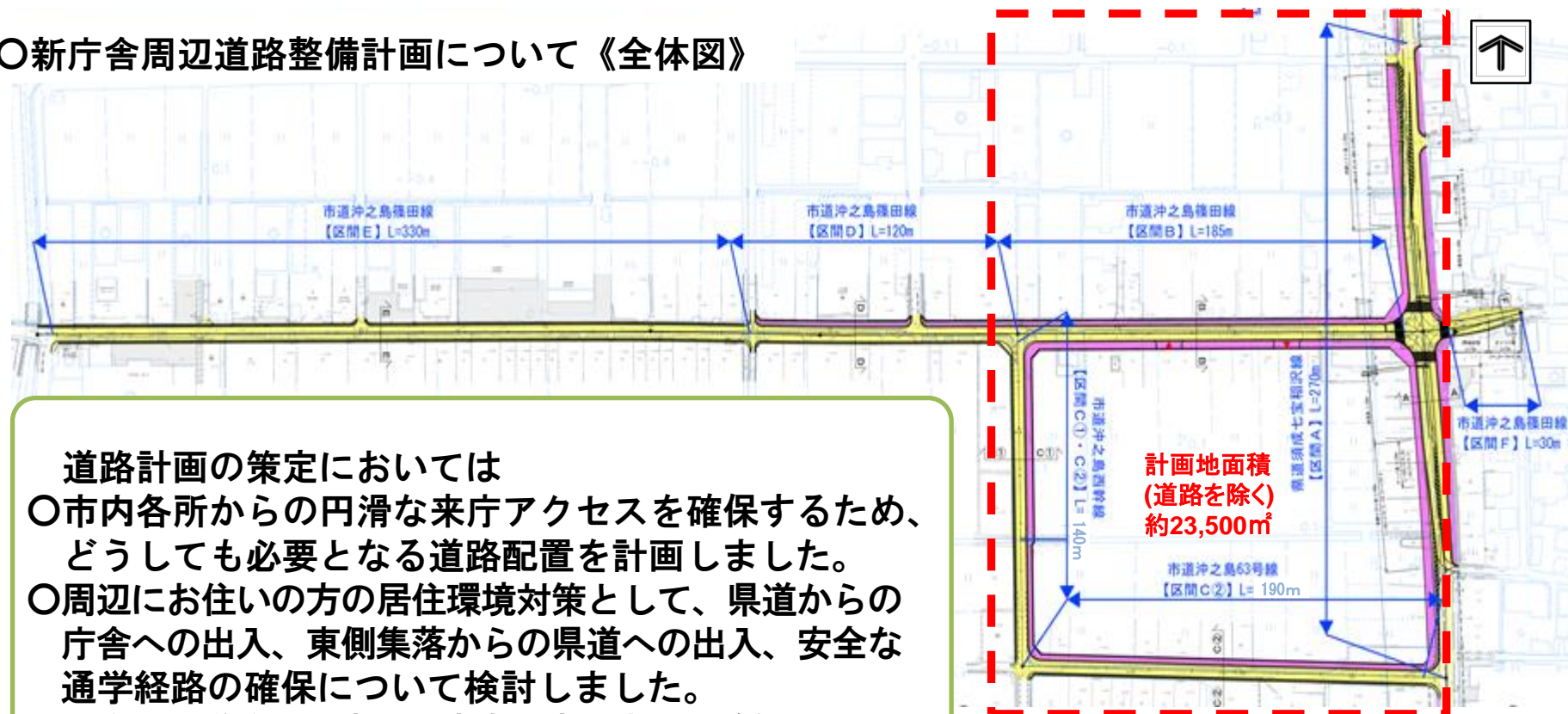
○免震構造を基本としつつ、敷地特性や建物特性、経済性等についての詳細な技術検討を進め、最適な構造形式について最終決定していきます。

4. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(3) 周辺道路計画の検討

- ⑦ 県道及び外周道路の整備検討
- ⑧ 来庁者アクセス道路の検討（徒歩、自転車、自家用車、市巡回バス等）

○新庁舎周辺道路整備計画について《全体図》



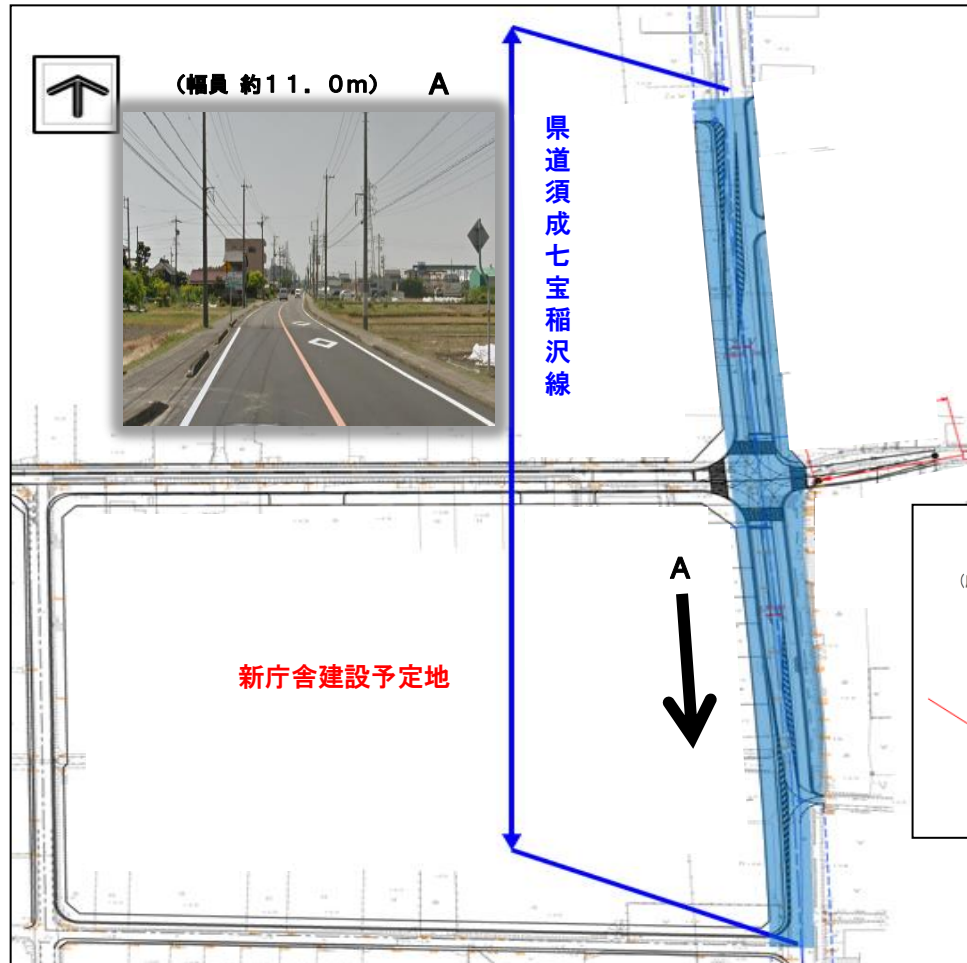
- 道路計画の策定においては
- 市内各所からの円滑な来庁アクセスを確保するため、どうしても必要となる道路配置を計画しました。
 - 周辺にお住まいの方の居住環境対策として、県道からの庁舎への出入、東側集落からの県道への出入、安全な通学経路の確保について検討しました。
 - 庁舎周辺道路は、安心して安全な歩行空間の確保のため、歩道設置による歩車分離をしっかりと図ってまいります。

4. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(3) 周辺道路計画の検討

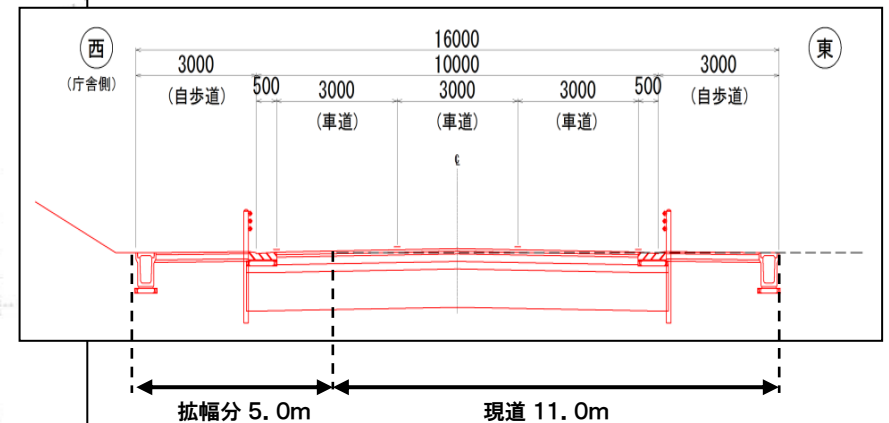
- ⑦ 県道及び外周道路の整備検討
- ⑧ 来庁者アクセス道路の検討（徒歩、自転車、自家用車、市巡回バス等）

【区間A】 県道須成七宝稻沢線((都)七宝蟹江線



車線	2車線（交差部10.0m）
延長	約270m
計画幅員	16.0m

○計画道路断面イメージ

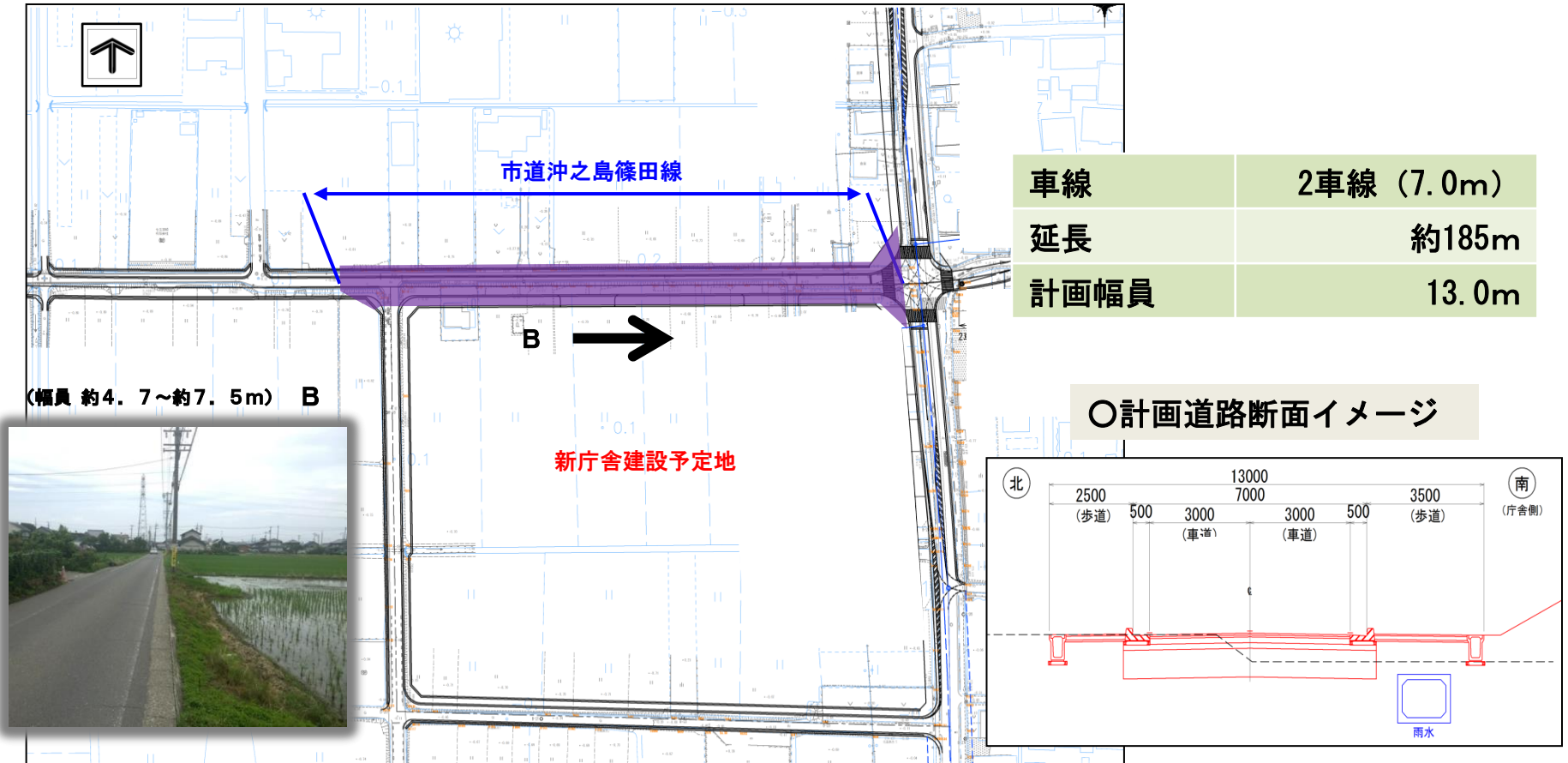


4. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(3) 周辺道路計画の検討

- ⑦ 県道及び外周道路の整備検討
- ⑧ 来庁者アクセス道路の検討（徒歩、自転車、自家用車、市巡回バス等）

【区間B】 市道沖之島篠田線



4. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(3) 周辺道路計画の検討

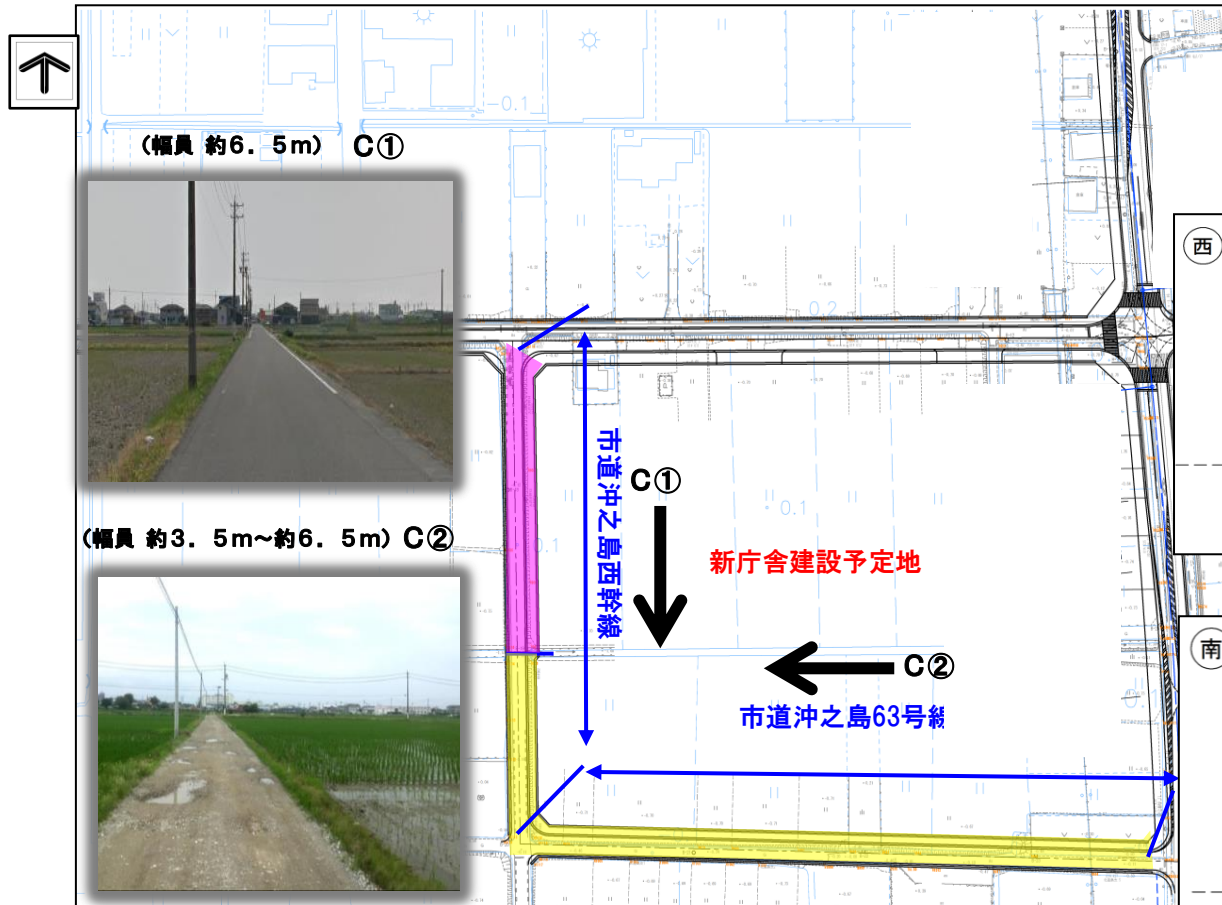
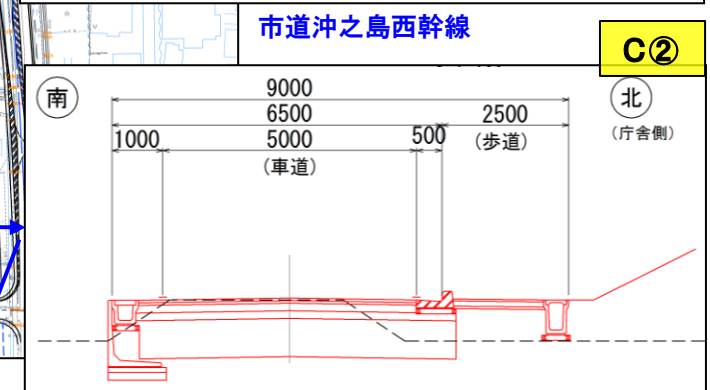
⑦ 県道及び外周道路の整備検討

⑧ 来庁者アクセス道路の検討（徒歩、自転車、自家用車、市巡回バス等）

【区間C①、C②】市道沖之島西幹線、市道沖之島63号線

車線	1車線 (6.5m)
延長	約330m
計画幅員	9.0~10.0m

○計画道路断面イメージ



4. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(4) 市民ミーティングの報告（配置計画の検討）

みんなで考える
みんなが使える庁舎



4. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(4)市民ミーティングの報告（配置計画の検討）

《市民ミーティングの進め方（平成28年度）》

参加メンバー

スケジュール・テーマ

おとなミーティング

一般公募	13名
推薦	3名
（20代～70代）	

合計	16名
----	-----

第1回 平成28年12月4日（日）

午前：ユース
午後：おとな

- 1 まちの特徴を知る
- 2 基本設計の全体スケジュールの説明

第2回 平成28年12月17日（土）

午前：ユース
午後：おとな

- 1 まちの特徴の分析・整理
- 2 新庁舎の機能について考える

ユースミーティング

中学校（市内5校）	22名
美和高校	4名
五条高校	3名

合計	29名
----	-----

第3回 平成29年1月22日（日）

午後：合同

- 1 すごろくのますを合同で考える
- 2 配置案に提案をのせて考える

第4回 平成29年2月4日（土）

午後：合同

- 1 庁舎、庁舎敷地でできることのとりまとめ
- 2 配置イメージに対する提案やアイデアのとりまとめ

4. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

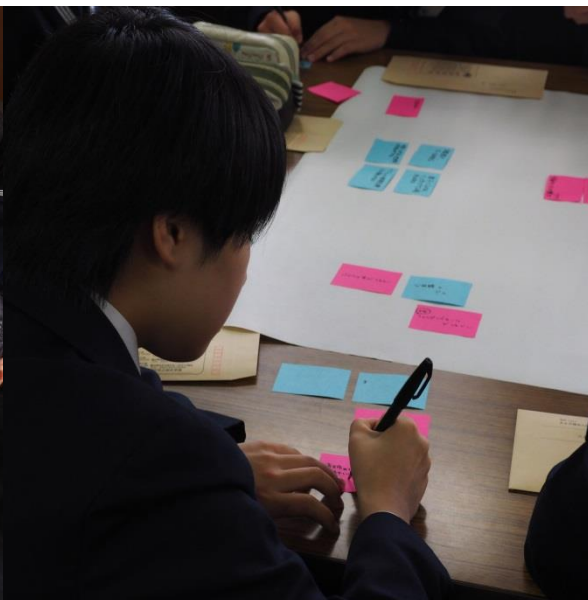
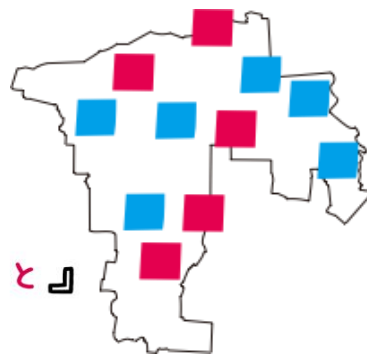
(4)市民ミーティングの報告（配置計画の検討）

第1回 平成28年12月4日（日）

「まちの特徴を知る」

それぞれの視点から、まちの魅力、特徴を知ること、「あま市らしさ」とはどんなものなのか、一緒に考える。

『残るとよいこと』『変わるとよいこと』
をふせんに書く



4. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(4)市民ミーティングの報告（配置計画の検討）

第2回 平成28年12月17日（土）

「あますごろく(まちの分析)から庁舎を考える」

「まちの分析まとめ」をもとに、以下のテーマについてディスカッションを行う。

- 庁舎機能（防災拠点等建物の機能）
- 市民利用機能（市民活動スペースや窓口機能）
- ひろばとその周辺（ひろばと交通アクセス）
- まちづくり



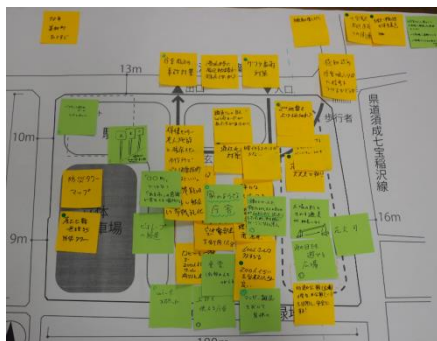
4. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(4)市民ミーティングの報告（配置計画の検討）

第3回 平成29年1月22日（日）

「配置案に提案をのせて考える」

複数の配置案を説明し、第1回、第2回市民ミーティングでまとめた新庁舎への提案を、配置図に分類し、取りまとめる。



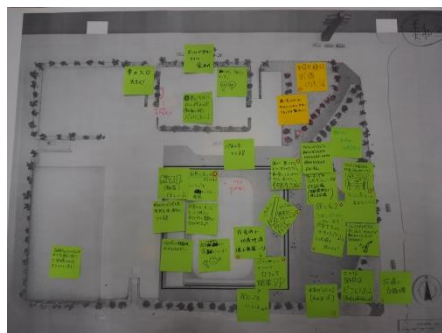
4. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(4)市民ミーティングの報告（配置計画の検討）

第4回 平成29年2月4日（土）

「庁舎・庁舎敷地でできること、配置イメージに対する提案やアイデアのとりまとめ」

今までの市民ミーティングや各グループの提案内容を振り返り、配置案を基に空間や機能面について、話し合う。



4. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(4) 市民ミーティングの報告（配置計画の検討）

《市民ミーティングの成果として「あますごろく」を作成》

① まちの特徴を知る

「あま市の残るとよいこと」、「あま市の変わるとよいこと」を大人と中高生にて意見を出していただきました。



② まちを考える

そこから見えてくるまちの特徴について、各々で比較していただき、まちをよくするための意見（まちづくり）と庁舎で活かしたり解決できる意見（庁舎機能）に振り分けました。



③ まとめ

まちをよくするための意見（まちづくり）については、あま市の魅力を発信するためのひとつのアイデアとして、「あますごろく」としてまとめました。

※なお、庁舎で活かしたり解決できる意見（庁舎機能）につきましては、平成29年度に実施する市民ミーティングで、引き続き検討してまいります。

4. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

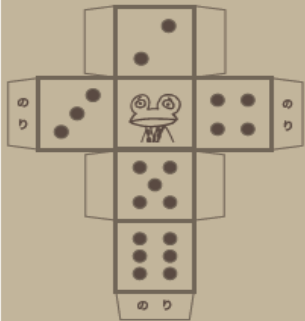
(4) 市民ミーティングの報告（配置計画の検討）



【平成29年2月4日現在】

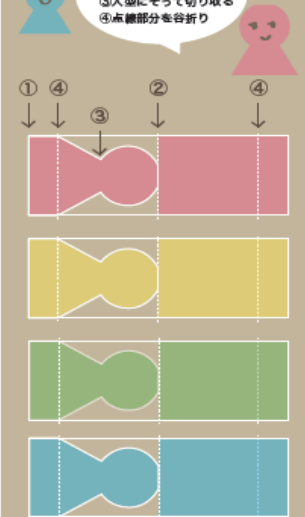
あますごろく

サイコロ



コマ

- ①外枠を切り取る
- ②折って2枚重ねにする
- ③人型にそって切り取る
- ④点線部分を谷折る



まちの特徴あつめました！あますごろく

【遊び方】

- ①サイコロとコマを切り取り、組み立てます。
- ②美和・基目寺・七宝のどの地域からスタートするかを決めて、コマを置きます。
- ③サイコロをふって出た目の数だけですすみ、一番はやくゴールした人の勝ち！

すごろくの
隈み方

- 1.あま市の 獲るとよいこと / 変わるよいこと に色分け
- 2.スタートから、歴史・自然・文化・食・産業・商業・交通・設備施設のカテゴリ順に配置

4. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(4) 市民ミーティングの報告 (配置計画の検討)

市民ミーティング 提案ダイアグラム

- 庁舎機能
- 広場機能
- 交通・アクセス機能
- その他の機能・運用

【庁舎周辺の交通環境整備】

- ・庁舎周辺の事故対策
- ・名鉄津島線立体交差
- ・七宝駅周辺道路との関連
- ・庁舎の出入りに信号をつけるかどうか
- ・感知式の信号
- ・施工チェックをしっかり

【庁舎への円滑なアクセス】

- ・庁舎までの道のりに七宝線に関連した施設をつくる！
- ・七宝焼で道路をつくる
- ・七宝焼でつくられた街灯をふやす！
- ・レンタサイクルの拠点にする
- ・自転車の貸し出し
- ・雨の日も考慮してほしい(屋根または庁舎近くに)
- ・駐輪場をつくる(絶対！)
- ・車を停めた場所がわかりやすいサインが欲しい

【防災機能としての庁舎】

- ・屋上避難が無理なら防災タワー
- ・防災タワーマップ
- ・高圧線大丈夫ですか？
- ・地盤はあげられるのか？
- ・まず2mあげる
- ・浸水時に周辺道路が冠水しないか
- ・液状化対策 ・ゲリラ豪雨対策
- ・開発許可等、道路整備の実現性は？

【運用の工夫】

- ・雨水をためてアートヴェレッジのよに補助金を
- ・補助金の活用を取り入れる
- ・知財を使ったデザイン、発明考案などを取り入れる
- ・会議室の市民利用(休日等)の一部負担金をもらう
- ・アンテナの利用許諾料として収入をはかる

【テーマ性のある庁舎】

- ・コンパクトな庁舎
- ・家のような庁舎

【働きやすい庁舎】

- ・庁舎の中とか音楽が流れたらいいと思う
- ・職員さんの自己紹介カードがあった方があったかい

【気軽に寄れる庁舎】

- ・漫画、雑誌を置いて来やすく
- ・親が手続きとかしとる時に小さい子とか遊べるスペースを中につくる！！
- ・Wi-Fi スポット
- ・ついでに用事をすませられる
- ・すべての銀行のATMが欲しい
- ・開館時間の拡大
- ・夜間開放(学校が終わってから)

【居心地のよい環境】

- ・ガラス張り暑い！
- ・西側はガラス張りしない
- ・雨の日すべりにくい床にする
- ・洗って使えるような壁紙を使ってほしい(リフォーム)
- ・中央廊下は暗い？南側を通路にするとか明るくなる！
- ・自然光をたくさん取り込んでほしい！(光熱費を下げる)
- ・庁舎の中が明るくなるように、自然の光を取り入れたり壁の色を明るい色にする(白など)

【保健センター機能】

- ・保健センターを老人施設と複合化
- ・市役所でプチ健康診断ができるといい
- ・小さい子どもがいるお母さん(市役所の職員も)のために保育所をつくる

【地元の資源を活用】

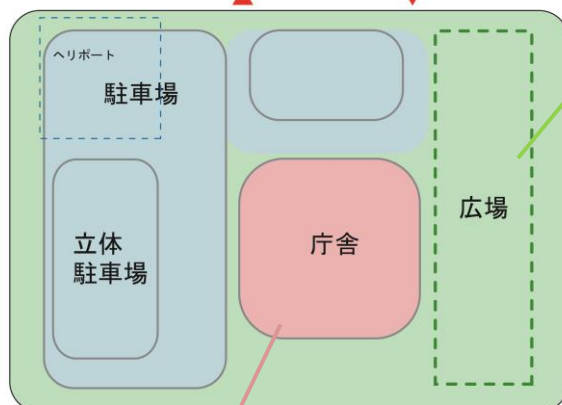
- ・庁舎のどこかに七宝焼を取り入れる
- ・市章を七宝焼で 当然のこと
- ・壁画のあまえん坊
- ・あまえん坊のことを沢山の市民に知ってほしい
- ・あまえん坊と七宝焼のコラボレーション
- ・市民でタイルを壁に貼る

【市の情報発信の場】

- ・情報スペース
- ・自由にチラシやポスターを貼っていい掲示板をおいてほしい
- ・情報が拾いやすいスペース(窓口が開かなくても知りたいことが知れる)ポランティア、観光などなど

【イベントカレンダー、地域の催し物(事)を日別に知れるように】

- ・市民が「気軽に」意見(庁舎やまちづくりに対して)を書いて入れられる箱の設置
- ・「○○町」ではなく「あま市」の意識が芽生える場所にする



【広場の大屋根】

- ・雨の日でも遊べる広場
- ・広場に屋根が欲しい
- ・広場の上に屋根？的なのが欲しい。ポール遊びできるように高めで！！(雨の日も遊びたい！！)
- ・雨や日光から防げる屋根のあるステージがほしい

【広場のスペース分け】

- ・縦長は活動しにくい
- ・広場はゾーン分けしているような使い分けが出来るように(アスファルトと芝生等)
- ・幼児の公園(広場)、小学生の公園(広場)を区別し、安全にする！
- ・(平常時) マルシェ等(災害時) 防災拠点

【市民が運営や維持に関わる仕組み】

- ・広場の管理を中高生の活動でできないか？愛着もわくきっかけとなる

【外部のトイレ】

- ・市庁舎が閉まっても使えるトイレが欲しい！
- ・外から利用できるトイレがほしい

【遊べる広場】

- ・バスケットゴールが欲しい
- ・ボールで遊べる場所
- ・広場の一部にスポーツ目的で立ち寄れるような場所
- ・広場を人工芝にしてほしい(サッカー)
- ・水遊びができる場所
- ・花火可
- ・ピクニックできるようにする。パーベキューとかも
- ・土曜日はここで市場！(アートヴェレッジは日曜日)
- ・広場の形を生かす遊具(細長い)

【自然豊かな広場】

- ・道路沿いに桜を植える→花見！人が寄る！
- ・春夏秋冬の樹木
- ・スキの木はやめてほしい
- ・桜、梅/向日葵、あじさい/もみじ/椿など色々な花が咲いたらキレイ
- ・季節の花を広場にうるる
- ・広場の水はけを良くしてほしい！！(地面ドロドロだと遊べないから！)

【内と外のつながり】

- ・屋内と屋外で運動したイベントができる
- ・広場をみながらお茶するスペース
- ・市民が使える場所はなるべく入りやすいところに

【駐輪場とのつながり】

- ・立体駐車場からの直結通路をつくる

【食とくつろげる場所】

- ・カフェと活動センター、オープン
- ・たくさんが入れる食堂をつくる
- ・食堂(外部の人もつかえる)
- ・地産地消のカフェ(食堂)をつくる
- ・地産カフェ(A)方領大根、小松菜、ネギ
- ・地元の農産物をつかったバイキング

【勉強ができるスペース】

- ・図書館や勉強できる場所を設ける
- ・学習室がほしい
- ・自習できるスペースが少ない
- ・自習室、必要性和環境づくりを要考案
- ・静かなスペースをどうやってつくる？
- ・静かな空間

【活気のある市民活動スペース】

- ・(市民利用機能) 庁舎機能とは分離し、独立して多機能化
- ・1階に外からも中からも入れる出入口を2カ所つくる
- ・市民活動センターを前面に！
- ・活動スペースで学生さんとか大人の方とかが演奏したり、歌ったりしていたら、市も明るいイメージになると思う

【多様な使い方ができる広いホール】

- ・楽器を吹いてもOKな防音室が欲しい
- ・フレキシブルに使える会議スペース、ホールのな場所
- ・ロビーと一体化で200人程度のホール、開けると広く使える
- ・ラーメン選手権やスイーツ食べ放題など大きいイベントがあればいいなと

【貸しスペースの充実】

- ・スペースを貸すシステム、制度をしっかりとおくってほしい
- ・直前でも気軽に借りられるように
- ・子供会で気軽に使えるスペース
- ・みんな使えるよう、料金が低くなる施設
- ・公民館がボロい…(沖ノ島の)使いづらい
- ・土日使える庁舎
- ・休日に建物内に入らなくても利用できるしくみ

4. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(4) 市民ミーティングの報告（配置計画の検討）

「新庁舎に期待する主な機能」(まとめ)

■ 庁舎機能

気軽に寄れる庁舎、居心地のよい環境、地元の資源を活用、市の情報発信の場、保健センター機能、食とくつろげる場所、勉強ができるスペース、活気ある市民活動スペース、多様な使い方ができる広いホール、貸しスペースの充実、内と外とのつながり、駐車場とのつながり

■ 広場機能

自然豊かな広場、遊べる広場、広場の大屋根、市民が運営や維持に関わる仕組み

■ 交通・アクセス機能

庁舎周辺の交通環境整備、庁舎への円滑なアクセス

■ その他の機能・運用

防災機能を有した庁舎、テーマ性のある庁舎、働きやすい庁舎

4. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(4) 市民ミーティングの報告（配置計画の検討）

《配置案に対する市民ミーティングでの意見》

	A案	B案	C案
配置イメージ			
① 庁舎	△ <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎が立体駐車場の影になる ・北側に日影が影響しやすい 	△ <ul style="list-style-type: none"> ・玄関がわかりにくい 	○ <ul style="list-style-type: none"> ・敷地のほぼ中央に庁舎がある ・周辺への環境影響・圧迫感が最も少ない
② 交通・アクセス	△ <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場から庁舎が遠い 	△ <ul style="list-style-type: none"> ・玄関までが遠く、アクセスが悪い ・徒歩だと距離が長すぎる。 	○ <ul style="list-style-type: none"> ・玄関車寄せがわかりやすい ・車と徒歩のどちらもアクセスしやすい
③ 機能・運用	△ <ul style="list-style-type: none"> ・県道、まち（駅や東側集落）との連続性が弱い ・広場と駐車場が連携しづらい 	△ <ul style="list-style-type: none"> ・県道、まち（駅や東側集落）との連続性が弱い 	○ <ul style="list-style-type: none"> ・県道、まち（駅や東側集落）との連続性が強く一体利用に有利
④ 広場	△ <ul style="list-style-type: none"> ・広場が建物に囲まれて閉塞感がある 	△ <ul style="list-style-type: none"> ・広場にヘリポートを設けると高圧線が近くて危険 	△ <ul style="list-style-type: none"> ・多様な活動ができそう ・高圧線下の広場はボール遊びができないなど、制限がある
⑤ その他	【共通】 緊急車両や災害時アクセスを考慮し駐車場出入口は複数ある方がよい。 【共通】 自然豊かな広場に。広場の安全性に配慮を（駐車場や道路への飛び出しなど）、イベントも行いやすい仕上に。		

→ 上記3案から総合的な評価により、C案を選定

4. 検討・整理すべき事項の取りまとめ・報告

(4) 市民ミーティングの報告（配置計画の検討）

《配置案に対する市民ミーティングでの意見》

取りまとめ

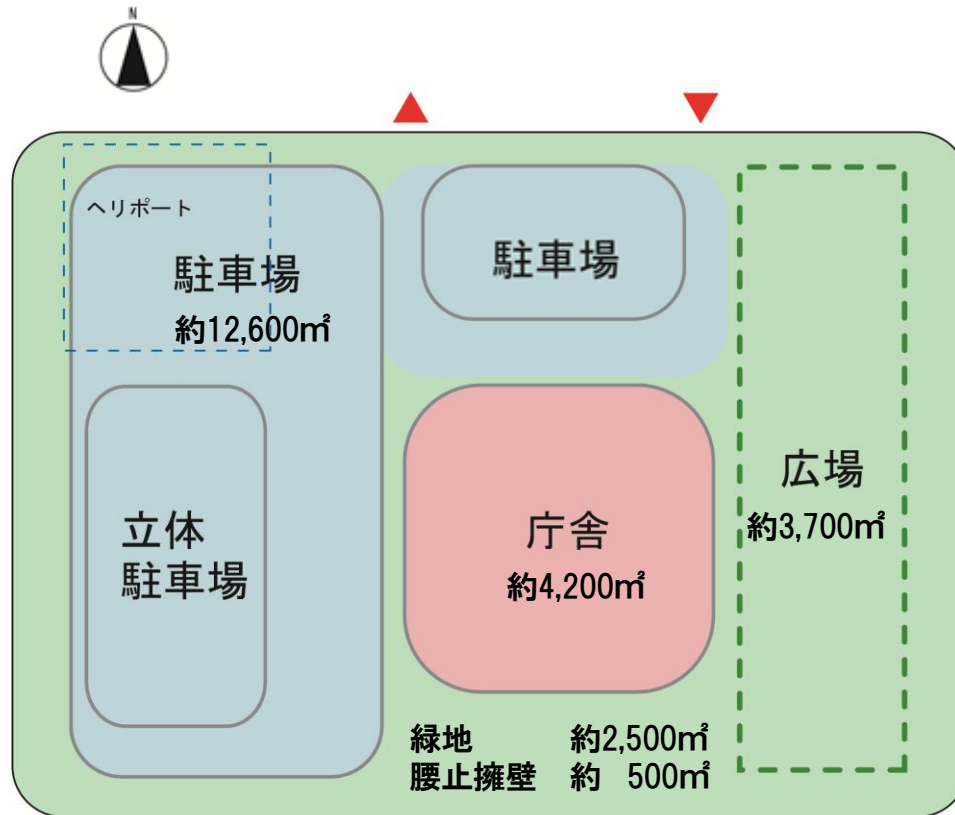
■ 庁舎

《配置に関する評価》

- 敷地のほぼ中央に位置
- 周辺への圧迫感が最も少ない

《期待する機能》

- 気軽に寄れる庁舎
- 地産地消など地元の資源を活用
- 活気ある市民活動スペース
- 保健センター機能



■ 駐車場

《配置に関する評価》

- 広場との離隔により子どもの安全が確保できる
- 車と徒歩のどちらもアクセスしやすい

《期待する機能》

- 使い勝手のよい安全な駐車場・駐輪場
- 災害時やイベント時の活用も想定

■ 広場

《配置に関する評価》

- 庁舎と連動したイベントができる

- 多様な活動が可能

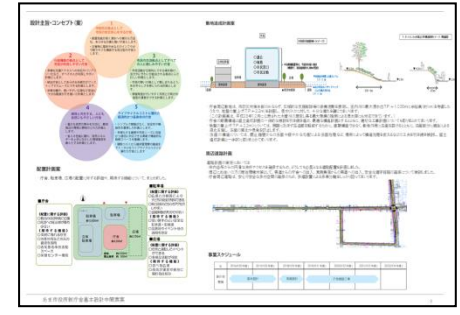
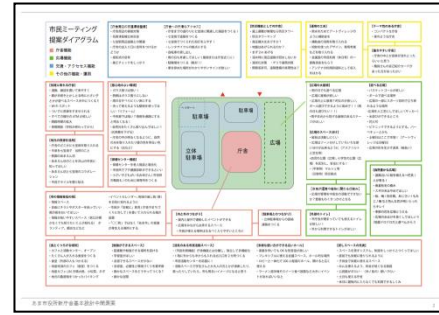
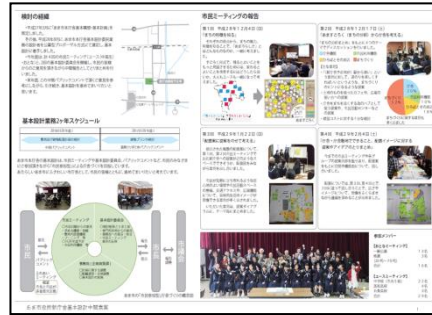
《期待する機能》

- 遊べる広場
- 市民が運営や維持に関わる仕組み

5. 中間取りまとめ（案）

○市民の皆様へ、新庁舎基本設計における進捗状況をお示しするとともに、幅広いご意見をいただくために、新庁舎整備の中間取りまとめとして、パブリックコメントを実施します。

①あま市役所新庁舎基本設計（中間素案）



②期間、閲覧場所等

区分	内容
意見の募集期間	平成29年2月20日（月）～平成29年3月21日（火）
閲覧場所等	以下の場所にて閲覧（土・日曜、祝日、年末年始を除く。午前8時30分～午後5時15分） ○本庁舎 2階 企画財政部 企画政策課 ○七宝庁舎 1階 七宝市民サービスセンター ○甚目寺庁舎 1階 甚目寺市民サービスセンター ※市公式ウェブサイトでも閲覧できます。

